



# 駅からちょっと町歩き ～たかおか散歩絵図～



## 富山県高岡市 (人口約17.8万人)

高岡は、万葉集の編者とされる大伴家持が、奈良時代に越中国守として赴任し、数々の秀歌を残した万葉ゆかりの地です。  
加賀前田家2代当主前田利長が高岡城築城以来、400年を経過した高岡には、国宝や重要文化財、情緒ある町並みなど歴史的遺産が数多く残されています。  
海越しに雄大な3,000m級の立山連峰を望む雨晴海岸は、高岡が世界に誇る絶景です。(世界で最も美しい湾クラブ加盟、奥のほそ道風景地) 大型客船も寄港する国際貿易港を有し、アルミ、機械、銅器、薬品などの産業が盛んなまちとして知られる文化・商工業都市です。



**【見どころ】**  
高岡駅周辺… 国宝瑞龍寺、前田利長公墓所、高岡古城公園、高岡大仏、土蔵造りの町並み、千本格子の家並み  
伏木・雨晴… 勝興寺・越中国庁跡、伏木北前船資料館、万葉歴史館、雨晴海岸、武田家住宅、国泰寺、二上山万葉ライン

**【味・特産】** ます寿司、昆布じめさしみ、昆布巻きかまぼこ、たけのご料理、コロック (日本有数の消費地)、和菓子、おやき、すりみ、高岡銅器 (国内シェア90%)、高岡漆器、高岡仏壇、竹笛、菅笠

### ちょっと寄ってみませんか

場所	名称	内容	地図	電話 (市外局番 0766)
国道8号線 高岡インター直近	① 道の駅「万葉の里 高岡」	特産品、おみやげ、観光情報 レストラン	A-5	30-0011
	② 高岡地域地場産業センター	特産品、おみやげ	C-1	25-8283
千本格子の家並み (金屋町)	③ 織瓶屋	鉄瓶、茶の湯釜の販売、修理	A-2	25-7305
	④ たたら庵 喜泉	美術展示販売、販売	A-2	23-1623
	⑤ 創業慶応三年 大寺幸八郎商店	クラフト商品、金属工芸ギャラリー	A-3	25-1911
	⑥ 夢見通り	喫茶	A-3	26-3577
	⑦ 利三郎	創作おみやげ、精物製造工場見学	A-2	24-0852
	⑧ ゆづら	プチギャラリー	A-2	24-0852
土蔵造りの町並み (山町筋)	⑨ あんしんごはん	惣菜、食事	B-3	28-0082
	⑩ 中村漆器店	漆器、記念品、民芸品	B-3	22-4925
	⑪ HANBUNKO (はんぶんこ)	クラフト商品、工芸ギャラリー	C-2	91-8380
	⑫ 大野屋菓子舗	和洋菓子	C-3	25-0215
	⑬ COMMA, COFFEE STAND	コーヒースタンド、休憩	C-2	070-5465-0993
	⑭ 山町茶屋	喫茶	C-3	25-1117
高岡古城公園	⑮ 志甫商店	おみやげ	C-3	22-0033
	⑯ 高岡御車山会館	曳山展示、ギャラリー	B-3	30-2497
	⑰ 三の丸茶屋	休憩、おみやげ	E-2	20-1563
	⑱ 古城亭	食事、喫茶	E-2	28-6685
	⑲ 雅覧堂	高岡銅器、高岡漆器、工芸品販売	D-3	22-3623
	⑳ 坂下小路	喫茶、休憩	D-3	25-0233
高岡大仏	㉑ 木屋本店 市の蔵	地酒、おみやげ、ギャラリー	D-3	25-0077
	㉒ たかおか大仏茶屋	観光情報、お土産、喫茶	D-3	54-6678
	㉓ グルン高岡商店街・高岡地下街	菓子、ます寿司、かまぼこ、地酒、食事等	D-4	22-6767
	㉔ 高岡駅観光案内所	観光案内、絵はがき等の販売	D-4	23-6645
	㉕ 喫茶 去 夢参道	喫茶、おみやげ	C-5	28-0005
	㉖ まちの駅たかおか 清風	喫茶、おみやげ、ギャラリー、レストラン	C-5	29-0870
瑞龍寺	㉗ やすらぎ庵	レストラン、和カフェ	C-5	0120-030410
	㉘ 八丁茶屋 右近亭	おみやげ、休憩、軽食	C-5	29-2996
八丁道	㉙ 羹料 (そば処)	食事	C-5	21-0863
	前田利長公墓所	海鮮料理 蔵レストラン (団体用和室)	E-5	28-0003
御旅屋通り	㉚ 芸文ギャラリー	クラフト商品、ギャラリー	C-3	25-6078
	㉛ わろんが	クラフト商品、ギャラリー、喫茶	C-3	21-6300

### 乗り物利用

#### 市内周遊バス

高岡市コミュニティバス「こみち」 高岡駅～新高岡駅 (路線バス)  
高岡駅前 20分おき出発 [瑞龍寺口] 下車  
(料金) 200円 高校生以下100円  
見どころ 瑞龍寺口 下停留所  
高岡大仏 高岡大仏前 見どころ 下停留所  
高岡古城公園 高岡大仏前 見どころ 下停留所  
土蔵造りの町並み 小馬出町 見どころ 下停留所  
千本格子の家並み 横田町 見どころ 下停留所

料金) 大人160円 子供80円

#### レンタサイクル (200円)

申し込み先 (配車場所) 休日 電話 市内局番 (0766)

高岡駅観光案内所	無休	20-0555	町衆サロン
末広町: 町衆スタジオ	水曜	20-0444	
御旅屋通り: わろんが	水曜	21-6300	
高岡大仏前: 坂下小路	水曜	25-0233	
高岡古城公園内: 三の丸茶屋	月曜	20-1563	
えんじゅ通り: ホテルニューオータニ高岡	無休	26-1111	

利用時間 10:00～16:00 冬期間休業(12月～3月)  
朝 末広開発休体高岡町衆サロン tel.20-0555(夜)

#### 交通案内 (市外局番 0766)

鉄道  
JR新高岡駅 ☎25-8650  
あいの風とやま鉄道 高岡駅 ☎88-3555

バス  
加越能バス(線)バス案内 ☎22-4888  
万葉線(路面電車・ドラえもんトラム) 万葉線 ☎25-4139

タクシー  
イカ交通ひまわりタクシー ☎25-2211  
昭和交通 ☎21-0303  
新和タクシー ☎27-0500  
高岡交通 ☎23-1212

#### 高岡市の観光案内所 (市外局番 0766)

高岡市観光協会 ☎20-1547  
高岡駅観光案内所 ☎23-6645  
新高岡観光交流センター ☎30-2626  
伏木観光推進センター ☎44-1199  
JR雨晴観光案内所 ☎44-0659  
福岡観光案内所 ☎64-0010

#### 観光ガイド

地元の観光ボランティアガイドをご紹介します。  
2週間前までに、高岡市観光協会にお申し込みください。

観光の お問い合わせ 公益社団法人 高岡市観光協会 ☎0766-20-1547 0766-20-1497  
◆「たかおか道しるべ」 <http://www.takaoka.or.jp/> 2016.5 40,000

# 歩いて 行ける!



## 加賀藩ゆかりの地 高岡の見どころ



加賀前田家二代当主 前田利長公  
(高岡市立博物館蔵(複製))

### 高岡を開いた 加賀前田家二代当主前田利長

織田信長に仕え加賀百万石の礎を築いた初代当主前田利家。その利家と妻まつとのあいだに生まれた長男が二代当主前田利長。利長は早くから父に従って戦場を駆け巡り、主君信長からも期待をかけられていた逸材であった。

二十歳の時、利長は主君信長の四女永姫を妻に迎え、その四年後に越中三郡の領主として今の高岡の守山城に移る。これが利長と高岡との深い縁の始まりとなる。

1598年、利長は父利家から家督を譲られ、加賀前田家二代当主となる。しかし、秀吉・利家が相次いで亡くなると、豊臣方と徳川方が対立。利長は、前田家の存続を図るため、母まつを人質として江戸におくなど、徳川氏との関係維持に努めた。

1600年の関ヶ原の合戦のあと、加賀、越中、能登の三国を領有する大名として遇された。

### 利長の高岡築城

1605年、利長は、家康が秀忠に將軍職を譲ったのに倣い、將軍秀忠の娘を正室に迎えた異母弟利常に家督を譲って、富山城に隠居する。しかし、その富山城が四年後の1609年春に焼失。そこで利長は、かつて居城した守山城からほど近い、関野の地で新たに築城し、同年九月に入城する。城の細環は、築城の名手、高山右近が行ったといわれる。このとき、中国の『詩経』の鳳凰鳴けり、かの高き岡に二という一節に因り、この地は「高岡」と命名され、ここに高岡のまちの歴史が始まった。

しかし、五年後の1614年、利長が高岡城で死去。翌年、幕府が発した「一国一城令」により高岡城は廃城の運命をたどることとなった。

### 兄思いの三代利常は 高岡の育ての親

若くして加賀藩百一十方石を譲られた異母弟の三代当主利常は、兄利長に深く恩を感じ、高岡の地に利長の墓と菩提を尊じ、瑞龍寺の建立を命じた。廃城により廃れかけていた城下町の復興に力を注ぎ、ここに高岡は商工業都市として見事によみがえることとなった。

加賀藩の威信をかけて建立された一大城郭の風格を持つ瑞龍寺は、廃城となった城に代わる高岡の町民の心の支えとなり、以来瑞龍寺は高岡の町の発展を見守り続けてきた。

兄利長への報恩の心によって高岡に深い歴史の彩りを与えた三代当主利常。高岡にとって利長は、産みの親、育ての親といえよう。高岡はその後金沢に次ぐ加賀藩第二の都市として栄える。



社大な大加賀 瑞龍寺

**「日本遺産」に認定!**

2015年4月に、文化庁が認定する「日本遺産」に、高岡市が提案したストーリー「加賀前田家ゆかりの町人文化が花咲くまち高岡一人、技、心一」が全国18件のうちのひとつとして認定されました。加賀前田家二代当主前田利長が開町以来、多くの町人たちが主役となって努力と気概で花咲いた町人文化と言えます。歴史と伝統は脈々と受け継がれ、優れた技術や心意気は過去のものではなく、現在も高岡市民の暮らしや心の中に息づいています。

**日本遺産とは (Japan Heritage ジャパンヘリテッジ)**  
～文化財は保存から活用へ～

日本遺産とは、「地域の歴史的魅力や特色を通じて、我が国の文化・伝統を語るストーリーを日本遺産 (japan heritage) に認定するとともに、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の文化財群を地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内外に戦略的に発信することにより、地域の活性化を図るものである」

高岡には魅力あふれる様々な文化財群があり、それぞれが高岡の文化の一翼を担っています。

日本遺産を構成する高岡の文化財群代表的なものとして、「国宝・重要文化財 瑞龍寺」「国指定史跡 高岡城跡」「重要有形民俗文化財 高岡御車山」「重要伝統的建造物群保存地区 山町筋」「重要伝統的建造物群保存地区 金屋町」などストーリーの構成文化財は約30にものぼります。

- その他の日本遺産認定**
- 岐阜県岐阜市 ..... 「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜
  - 島根県三朝町 ..... 津和野今昔～百景園を歩く～
  - 広島県尾道市 ..... 尾道水道が結んだ中世からの箱庭的都市
  - 群馬県桐生市ほか ..... かかあ天下どぐまの箱庭的都市 など

**土蔵造りの町並み山町筋**  
(国指定重要伝統的建造物群保存地区)

町の中心部に、明治後期の大火後に建てられた土蔵造りの旧家が四十二棟立ち並んでいます。明治時代の優れた防火建築が今にその姿を残す町並みを形成しています。

高岡最大の祭り「高岡御車山祭」が繰り広げられるこの界隈は、通称山町筋と呼ばれています。

菅野家住宅(国指定重要文化財、土蔵造りのまち資料館(旧室崎家住宅)が一般に公開されています。

よきんさんざんざん夕日が沈む♪でお馴染みの童謡「夕日」の作曲家室崎夢生邸の家が残っています。

東京駅を設計した辰野金吾の監督で1914年(大正3年)に建てられた赤レンガの銀行は、今も現役の銀行です。

タカシアスターゼの発明で有名な高岡謙吉博士生誕の地(現在高岡公園)には博士の銅像が建てられています。

菅野家住宅 ☎0766②30708  
土蔵造りのまち資料館 ☎0766②5223

【観覧料(両施設とも)】  
大人200円 小・中学生無料  
毎週火曜日

**瑞龍寺 (国指定)**

瑞龍寺は高岡の町を開いた加賀前田家二代当主前田利長の菩提寺です。三代当主利常は兄利長への深い恩から、寺は加賀百一十方石の威信をかけた一大事業として取り組まれ、藩の名匠山上善右衛門によつて約二十年の歳月をかけて建立されました。

建立以来三百五十年を経た曹洞宗寺院瑞龍寺は、日本で唯一、七堂伽藍と呼ばれる江戸初期の典型的な禅宗の寺院様式を今に残している建築物として高く評価され、1997年平成9年国指定されました。

伽藍は、総門、山門、仏殿、法堂が一直線上に配され、法堂から仏殿を取り囲むように山門まで回廊がめぐって、荘厳にして格調高い空間を作っています。特に、最高傑作の誉れ高い



高岡御車山祭 (毎年5月1日)  
(国指定重要有形民俗文化財)

### 高岡大仏 (高岡市指定文化財)

高岡は、梵鐘、銅像、花器、茶器、美術作品など様々な銅器製品の産地であり、国内シェアが九十%を超える日本一の銅器のまちです。



日本三大仏 高岡大仏

奈良・鎌倉と並んで日本三大仏に数えられている高岡大仏は、伝統ある高岡の鋳物技術の粋を集め、三十年の歳月をかけて1933年(昭和8年)に青銅大仏として完成しました。その出来栄は素晴らしい、顔立ちのいいことでは日本一のイケメン大仏様といわれています。

総高十五・八五m、重量六十五トンを、すべと地元の手による大仏は、銅器日本一のまち高岡の象徴です。

◆大仏寺 ☎0766②9156(無休)

【観覧】無料

### 千本格子の家並み 金屋町 (国指定重要伝統的建造物群保存地区)

金屋町は今日の高岡の地場産業の基礎を築いた高岡鋳物発祥の地です。四百年の伝統が息づく金屋町は今も昔の面影を残す趣のある千本格子の家が軒を並べ、おり、石畳の道とマッチして美しい町並みを形成し、平成24年に国の伝統的建造物群保存地区の指定を受けました。

風情のある通りは、よく映画やテレビの舞台となっています。

◆高岡市鋳物資料館 ☎0766②6088



千本格子の家並み 金屋町



大正の雰囲気 赤レンガの銀行

### 高岡御車山会館

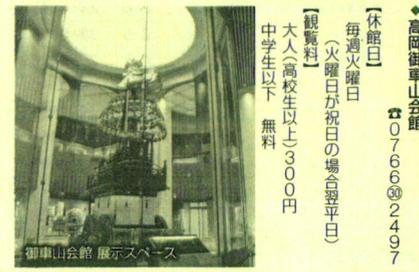
全国で5つしかない国の重要有形・無形民俗文化財である御車山を、通年展示する施設です。

山車に凝縮された「ものづくりのまち高岡」の工芸技術や御車山を守り伝えてきた町人文化の紹介が出来ます。

なかでも会館のメイン展示として吹き抜けの大空間に通常は年に1回だけ祭の際に曳き回される「御車山」1基を4ヶ月交替で展示しています。圧倒的な迫力と漆工・金工・染織の息をのむ美しさを堪能ください。

そのほかにも超高精密度のシアター、伝統工芸展示販売、地元産材を使用したカフェなど、まち歩きの見どころとしてご利用ください。

◆高岡御車山会館 ☎0766②2497



御車山会館 展示スペース

【観覧料】  
大人210円 小・中学生無料  
毎週火曜日

【休館日】  
(火曜日)が祝日の場合翌平日  
【観覧料】  
大人(高校生以上)300円  
中学生以下 無料